



『熱と汗の香り』

脚本：アストン=路端
画像：コミポ！

季節によっては
涼を招く雨だけれど
気温の高い時期には
蒸し暑さを招く
降り止んだ今も
こうして雲が覆えば
じっとしていても
汗が滲んで来る





倒れるわよ？

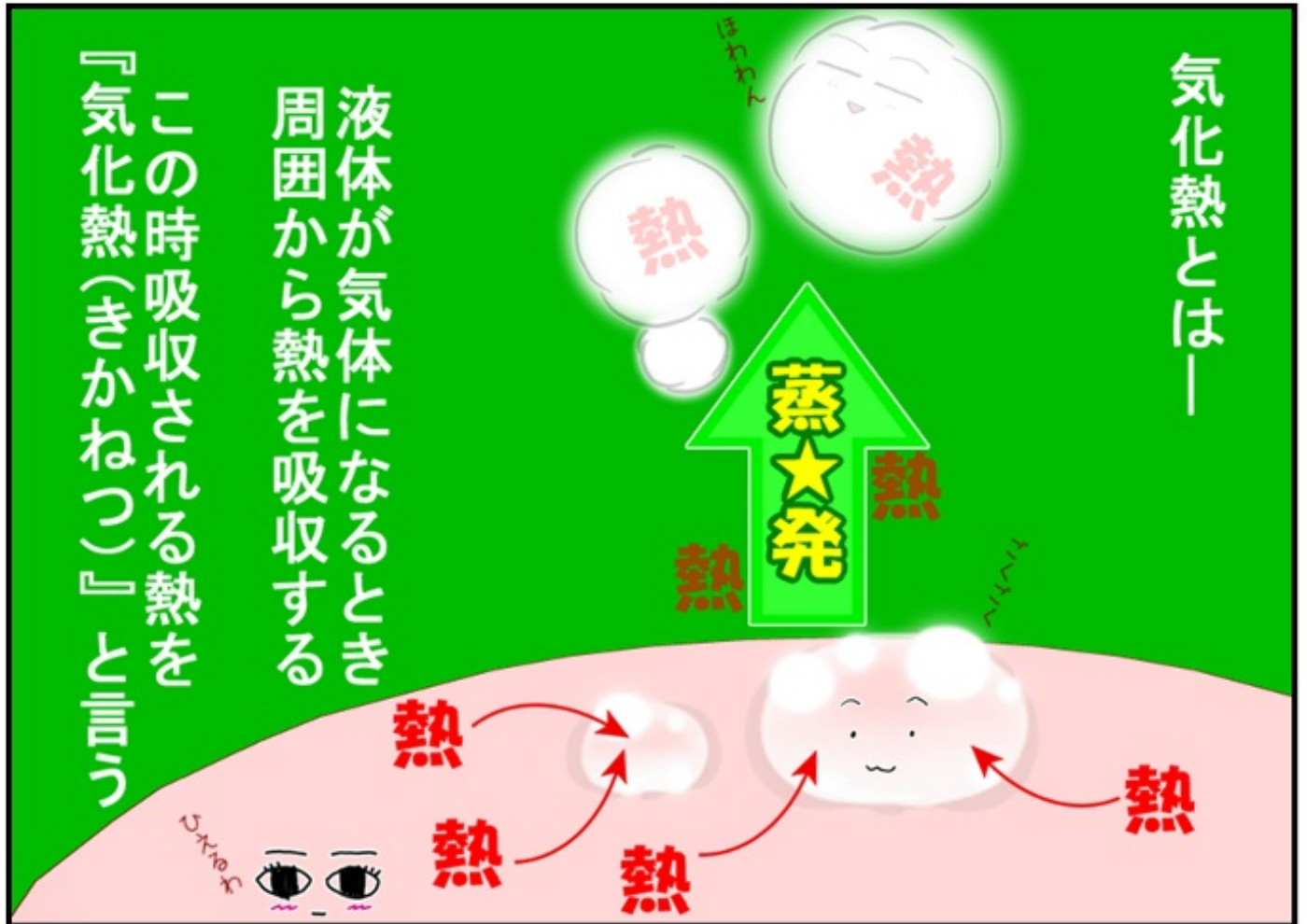


『熱と汗の香り』

脚本：アストン＝路端
画像：コミポ！

気化熱とは—

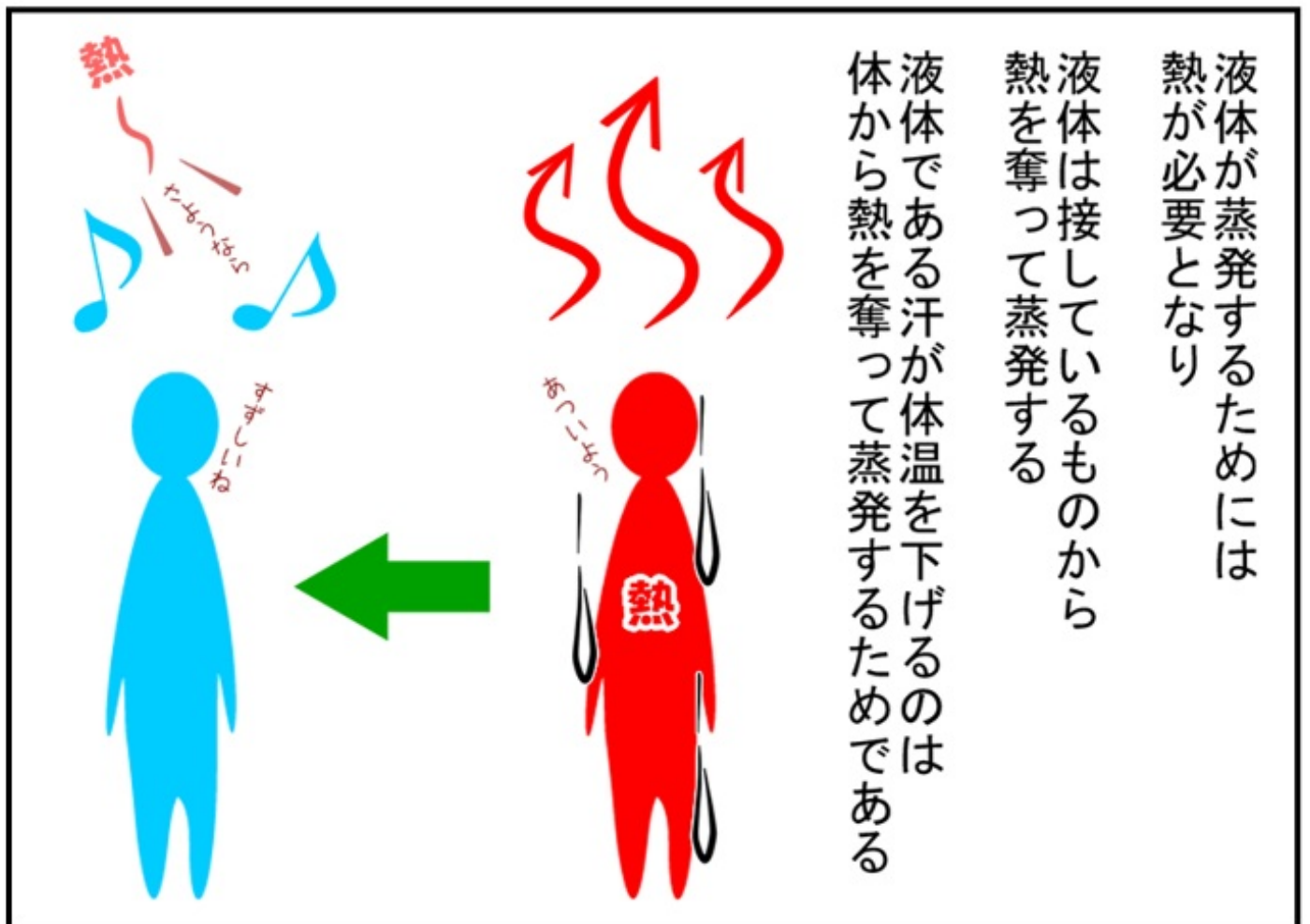
液体が気体になるとき
周囲から熱を吸収する
この時吸収される熱を
『気化熱(きかねつ)』と言う

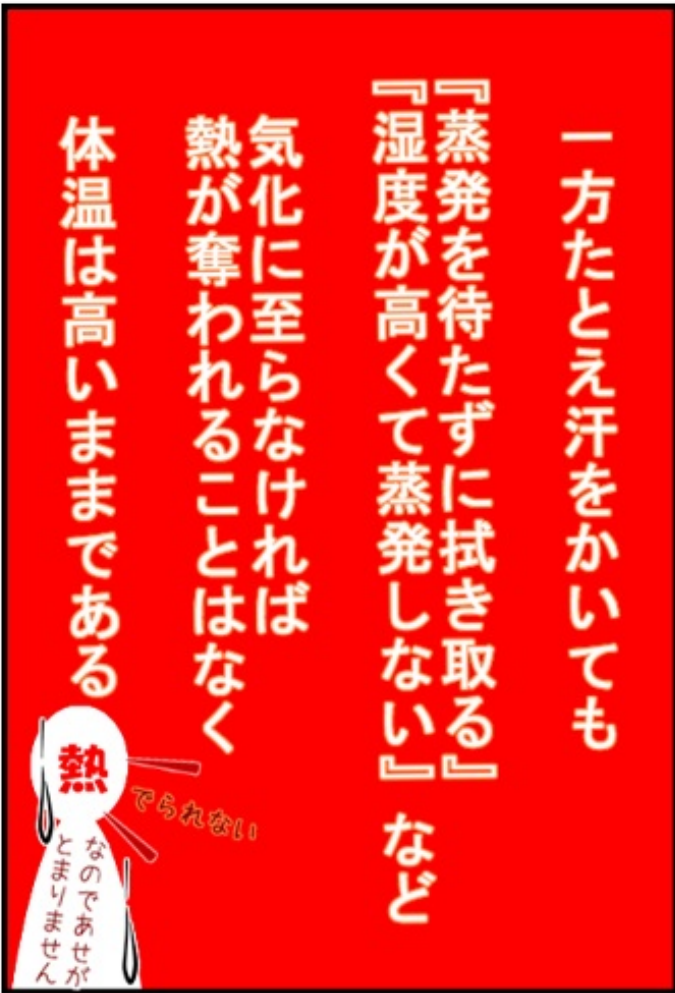
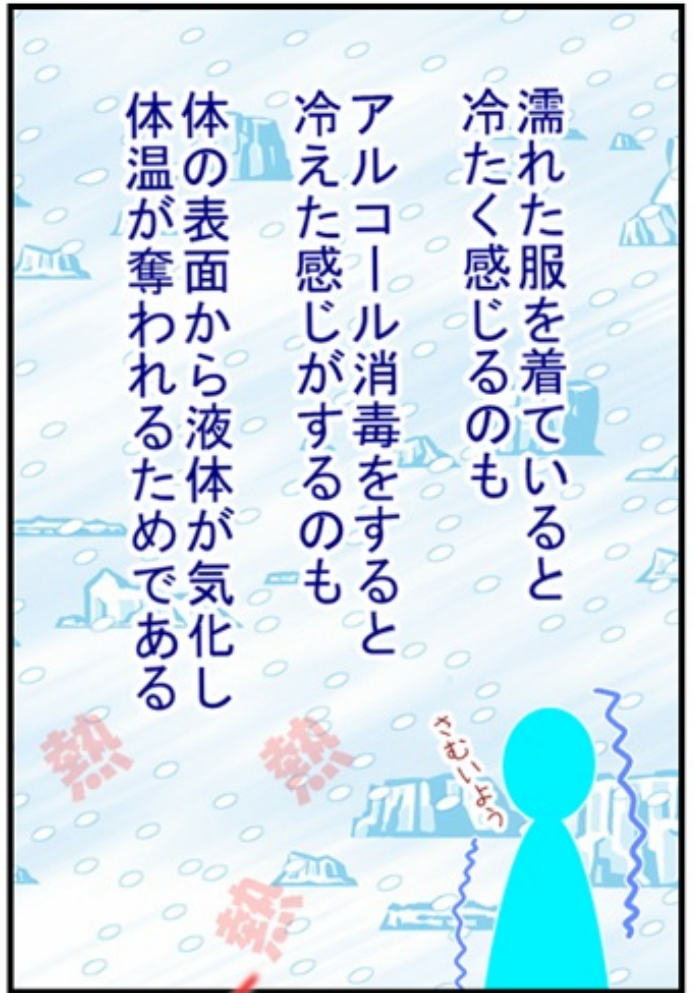


液体が蒸発するためには
熱が必要となり

液体は接しているものから
熱を奪って蒸発する

液体である汗が体温を下げるのは
体から熱を奪って蒸発するためである





湿度高いから

打ち水とは水を撒くこと
また、その水を言う。

打ち水は
砂埃を抑えるだけでなく

地面の熱を気化熱として
冷却効果を生む。

特に暑い時期に
効果的な冷却方法であるが

水の蒸発が前提であるため

湿度の高い日に
効果は期待できない。

温度の急激な上昇や
湿度の高い状況下では
熱中症が起こることがある。

体が熱さに慣れていないことや

汗が蒸発せず

体内の熱を発散できない為である。

あれ？

体感温度を下げる場合

日射を防ぐ
通風を確保する
蓄冷剤を利用する

体表を濡らす等

水の気化熱を

利用して

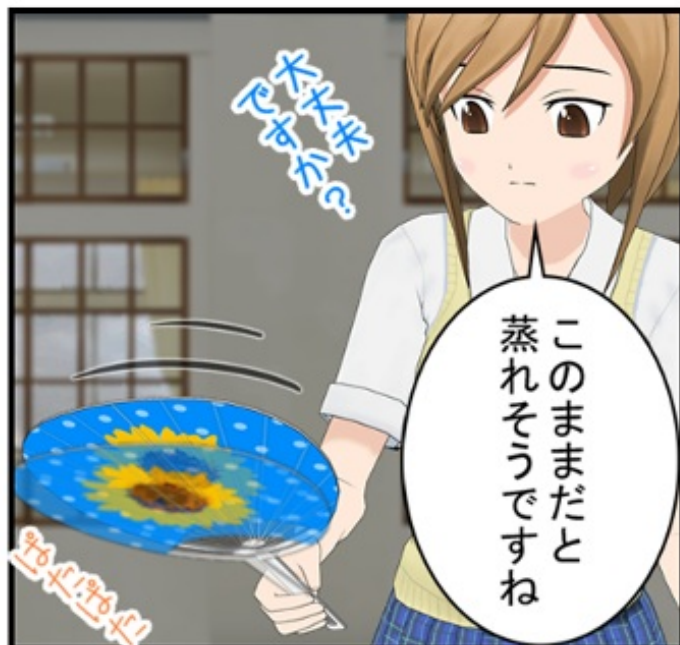
体温を下げる

などと言った

工夫を行うと良い。

わぁっ！





人は2種類の
汗腺(かんせん)を持ち
そこから汗をかき
エクリン汗腺から出る
酸性の汗と
アポクリン汗腺から出る
アルカリ性の汗である
アポクリン汗腺の汗は
脂肪や尿素
アンモニア等
様々な成分が
大半を占めており
汗臭さの原因とされる

また汗の水分で
皮膚が蒸れることと
汗の成分をエサに
皮膚の雑菌が増えること
また皮膚表面が
アルカリ化することで
臭いが発生する
但し
人のかく汗の大半は
エクリン汗腺のもので
皮膚の大部分にある
「汗孔」と呼ばれる
汗だけを出す穴から出る



汗の主な成分

99%水 (無臭)

- 水
- 乳酸塩
- 尿素
- 塩化ナトリウム
- 塩化カリウム
- カルシウム
- マグネシウム
- 亜鉛
- 銅
- 鉄
- クロム
- ニッケル
- 鉛

※個人差あり

ふっかつ

実際のところ
個人差はあっても
汗自体に
匂いは殆ど無いんだ

空調に頼るもの良いけど

汗をかき習慣が減ると
汗腺の働きが鈍くなる

水道で言えば
管が錆びた状態

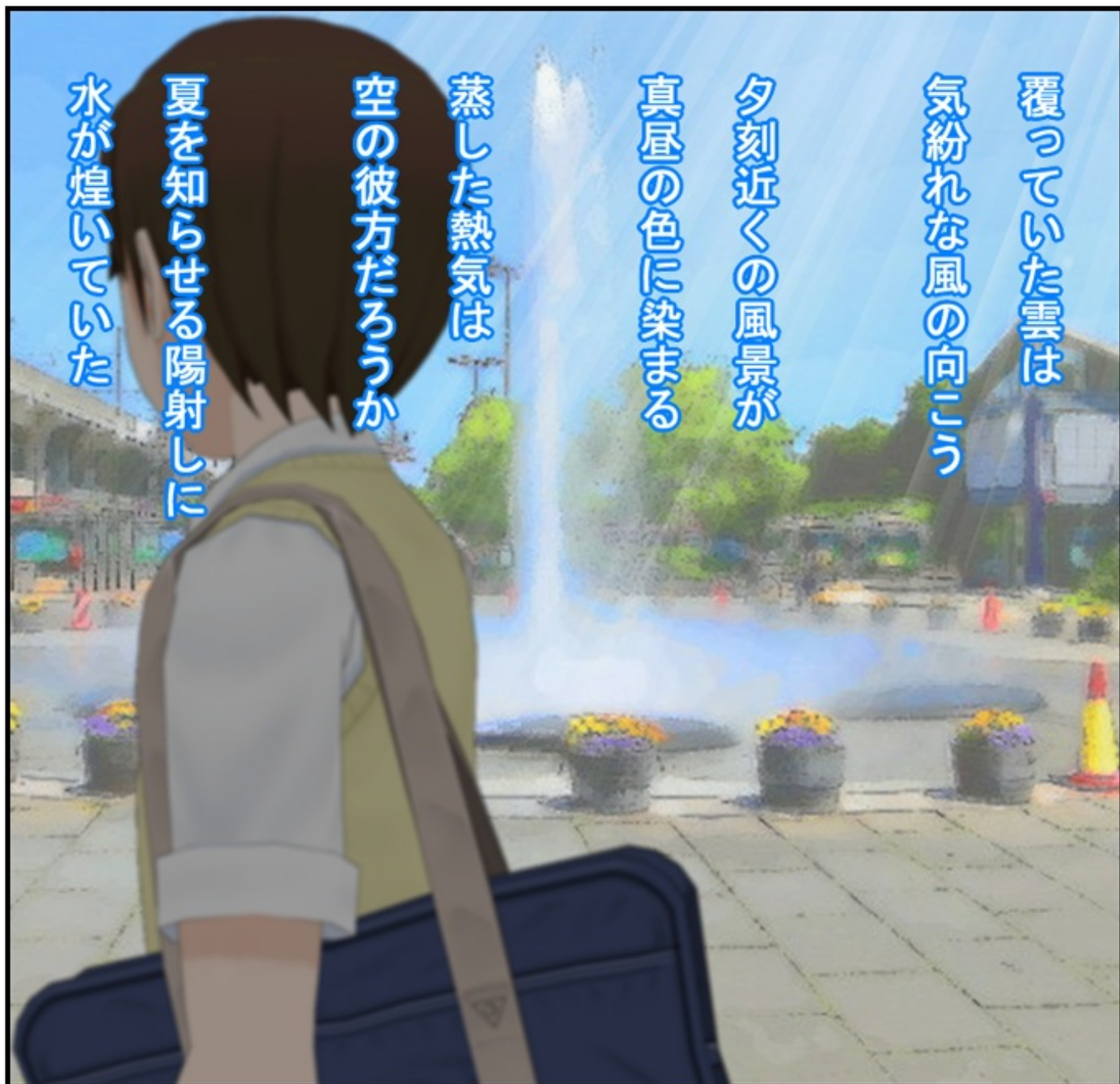
すると皮脂などが溜まるから
汗をかいたときに
バクテリアの格好の餌になる

体臭を防ぐなら普段から
汗腺を鍛えておくことだね

困みに私の日課は
ウォーキングだよ



爽やかな
汗をかこう
暑いんだ
ものさんぞう



覆っていた雲は

気紛れな風の向こう

夕刻近くの風景が

真昼の色に染まる

蒸した熱気は

空の彼方だろうか

夏を知らせる陽射しに

水が煌いていた

かん
けん!!



『熱と汗の香り』完

カルけん！！（21）

<http://p.booklog.jp/book/98296>

著者：アストン＝路端

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/robounoishi2009/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/98296>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/98296>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ